

化粧蓋「MWPT-5S 600」施工方法について

2026年2月5日 管理番号：MC1-2602051 製品分類：マンホールカバー

第一機材株式会社

化粧蓋「MWPT-5S 600」の施工方法には、後付施工例と打込施工例があります。

下記リンクの後付施工例と打込施工例を参考にしてください。

ホームページリンク先「施工資料」：[📄 mwpt5s_600_s.pdf](#)

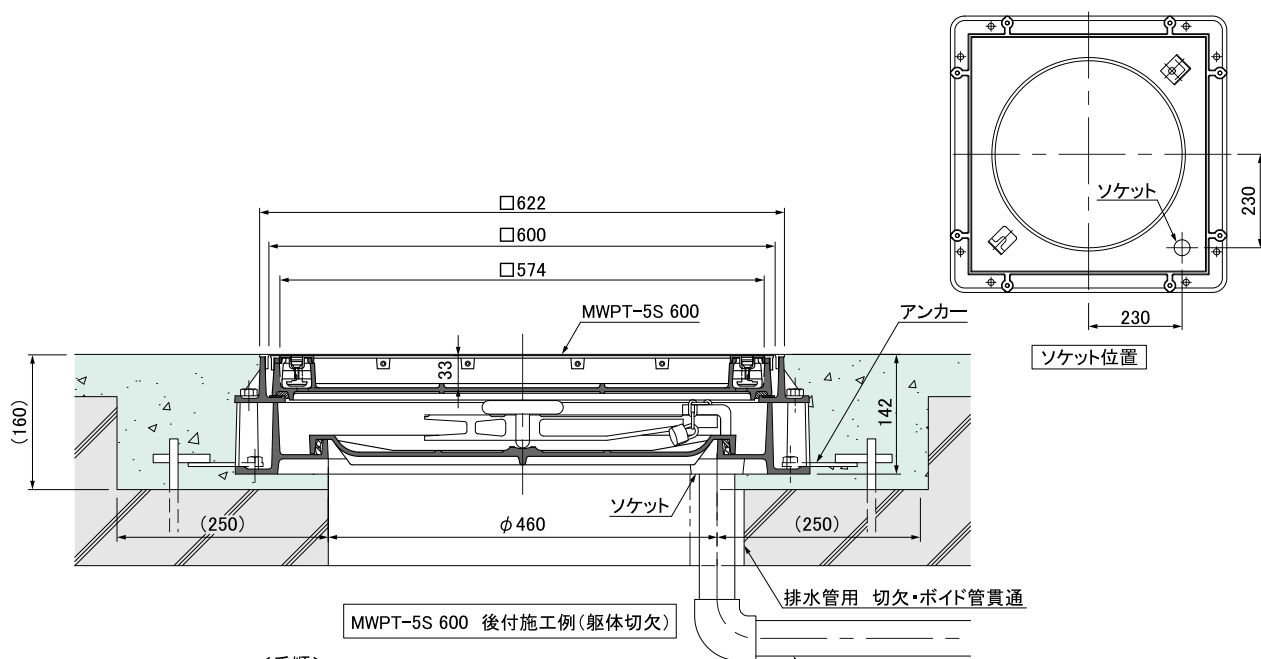
ホームページリンク先「承認図」：[📄 mwpt-5s_600.pdf](#)

【注意】

受枠と本体の質量が重いので規格MK3レベルボルト等が使用できません。

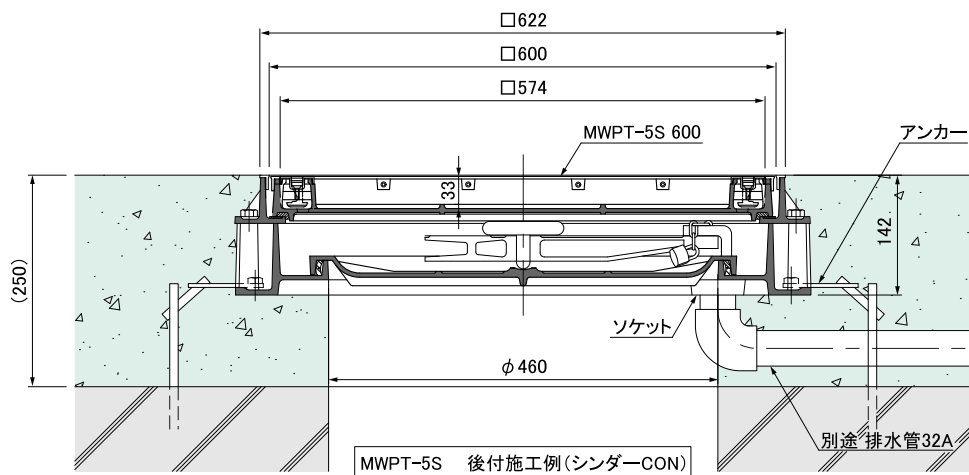
受枠と本体はボルト等で連結されていますが、ボルト等を外したりしないでください。

〈後付施工例〉



＜手順＞

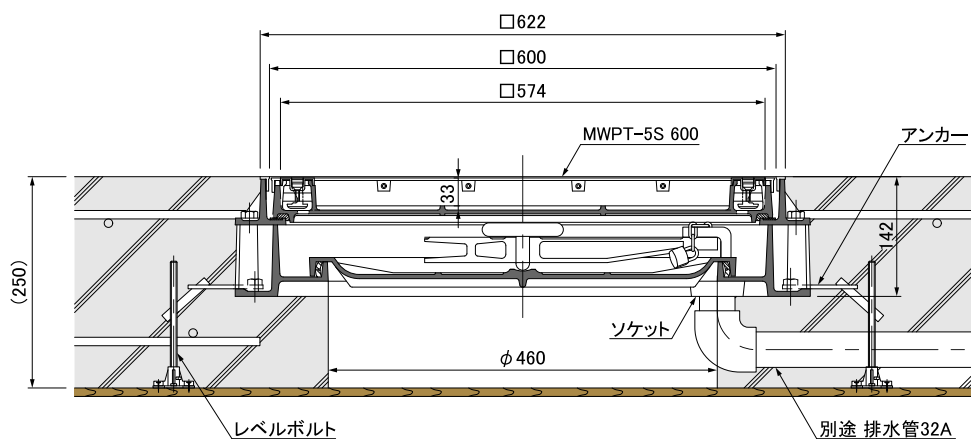
- 1: 躯体欠き込みにて、スラブ打設する。
- 2: 打設時、ソケット部排水管用に切欠・ボイド管貫通を行う。
- 3: 溶接アンカーを使いレベル確認後MWPT-5S 600を固定する。
- 4: 排水管を接続後、モルタルを充填し完了。



＜手順＞

- 1: 排水管をMWPT-5S 600にエルボー及び1m程度まで接続する。
- 2: 溶接アンカーを使いレベル確認後MWPT-5S 600を固定する。
- 3: 排水管を最後まで接続後、シンダーCON打設し完了。

〈打込施工例〉



MWPT-5S 600 打込施工例

〈手順〉

- 1: レベルボルトを型枠に打ちつけ、さらに配筋に捨て筋を流して固定しレベルボルトの倒れ防止を行う。
- 2: 排水管をMWPT-5S 600にエルボー及び次の1m程度まで接続する。
- 3: 溶接を使い、MWPT-5S 600のレベルを確認後固定する。
- 4: 排水管を最後まで接続後、コンクリートを打設し完了。